演奏者　Profil

## ピアノ　大島直子　おおしま なおこ

14 歳で渡仏し、エコール・ノルマルでジャック・ジャンティに師事。帰国後、遠山慶子 に師事。フェリス女学院の音楽科に入学し、山岡優子に師事。中退して再びフランスに渡り、イボンヌ・ロリオ、ジェルメーヌ・ムニエに師事。フランスを代表する名ヴァイオリ ニスト、ジャン=ジャック・カントロフと 38 回共演し、絶賛を博す。 また妹の文子(クラリネット奏者)とのデュオは、アメリカのボードイン音楽祭、日本音楽コンクール、さらにベオグラードでのリサイタル、あるいはラジオ・テレビ出演など で聴衆に鮮やかな印象を与え、高い評価を確立した。また、スイスならびに日本における ロームミュージックファンデーション音楽セミナーに専属伴奏者として毎年参加した。 2005 年より、毎年夏に北軽井沢において妹の文子とミュージックセミナーを開催してい る。 姉妹デュオによる CD には、アメリカ人作曲家の作品を集めた「アメリカン・スナップショット」、日本の歌ばかり 27 曲を集めた「十五の心」、また最新盤には、世界的なクラリネットの名手であるチャールズ・ナイディックを迎えて 2 本のクラリネットとピアノのため の作品集を収録した「イル・コンヴェーニョ」等があり、いずれも高い評価を得ている。 現在に至るまで日本国内を始め海外でも意欲的な活動を続け、数々の演奏家の伴奏者、 室内楽奏者として活躍している。

## クラリネット　Tim (Timothy) W Carter　　ティム(ティモシー)・カーター

アメリカ東海岸のメイン州で生まれる。幼少期よりクラシック音楽に興味を抱くようになり、高校・大学とジュリアード音楽院に進む。在学中、ソリスト、室内楽奏者、またオーケストラのクラリネット奏者として、アメリカ・ヨーロッパ・日本など世界各地で演奏する。クラリネットをイェフダ・ジラード、チャールズ・ナイディック、大島文子の各氏に師事。卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。
２００７年から２００９年まで、首席クラリネット奏者を務める。その後、新日本フィルハーモニー交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ東京等、様々な日本のオーケストラとゲスト首席クラリネットとして演奏。またソロクラリネット奏者として日本やヨーロッパで開催された国際音楽コンクールで数々の上位入賞を飾る。現在は神奈川県に住み、桜美林大学にてクラリネットの指導を行う。最近では日本のみならずアメリカや中国でもソリストや室内楽奏者として招聘され、活発な演奏活動を行っている。またソロ奏者として、一般的なクラリネットのレパートリーのみならず、「マルチメディア」かつ「クラシックのクロスオーバー」な演奏会の開発にも注目している。さらに、クラシックの象徴的かつ感動的な作品のクラリネットのための新しい編曲を自ら行っている。リリースされたファーストアルバム「クラリネット再発見」(FOCD9720)は、大きな話題となっている。http://www.timothywcarter.com

♥ご挨拶　上智大学ソフィア会日欧事情研究会

大島直子さんとティム・カーターさんのデュオコンサートは今回が２回目です！４年前に初めて日欧事情研究会がお二人のコンサートを主催しました。曲目はフランスを中心にヨーロッパの作品を取り上げ、プーランク、サンサーンス、ドビュッシー、それにシューマンをラインナップする素敵なコンサートとなり 200 名近いお客様から大変好評でした。港区のリーブラホールはその大きさや音の響きが演奏者と観客の双方にとって非常に心地よい空間になっていたようです。今回はヨーロパから新世界アメリカへ、ドボルザークからガーシュウィン、バーンスタインまで、音楽史の上からも興味深く、私もいまからワクワクしております。

（永田　啓子）